

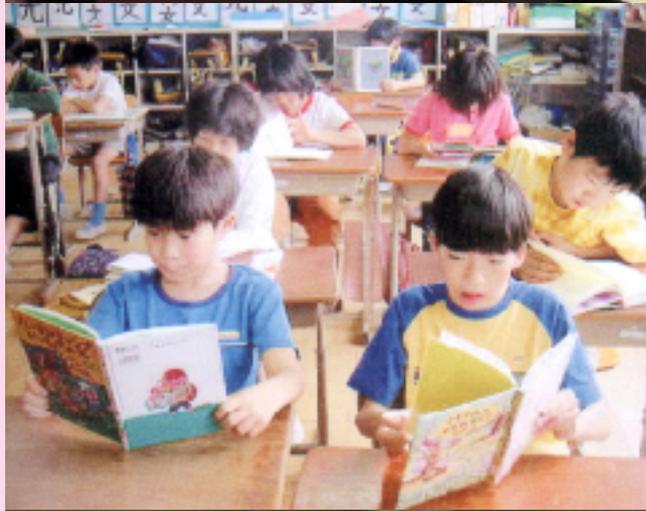
きょうと 京図ものがたり

京都市図書館情報誌

vol.3

平成15年3月発行

夢ふくらむ図書館に



目次

インタビュー..... 2
子どもの読書活動—今、学校では—

図書館小特集..... 3

特集..... 4~5
探そう! 「この1冊」

京都市図書館紹介..... 6~7
北図書館, 岩倉図書館

図書館コラム..... 6
忘れ物は, なんですか?

お知らせ..... 7
図書館の主な出来事
子ども読書の日を臨時開館
祝日・夜間開館を拡大

利用者の声..... 8

編集後記..... 8
京の図書館の薫り

子どもの読書活動振興のための取組が広がりを見せつつありますが、今号は、京都市子ども読書活動振興市民会議副座長・京都市小学校図書館研究会会長として活躍いただいている京都市立花園小学校 向井純子校長を訪ねて、学校現場での取組や保護者、市立図書館との連携などについて語っていただきました。

子どもの読書活動 ― 今 学校では ―

本との出会いをつくるのが大切

良書より適書

子どもの読書離れといわれていますが、本の楽しさに触れないままで大きくなっていく子もあると思います。「良書より適書」とは、ある先輩から教えていただいた言葉ですが、その子にあった、ピタッと心にくる適書というのが必ずあります。どの子もそれに出会ったら本が好きになる。「本ていいなあ、楽しいなあ、便利なあ」というような体験をすることが大事であって、子どもと本との出会いをつくってやるのが大切なんです。そこから本の好きな子ができてくるし、まず学校からそういう場を意図的につくっていく取組を始めています。

学校での様々な取組

朝の十分間読書 ― 心地よい時間と空間を共有

市立小学校では、100%の学校で「朝の十分間読書」に取り組んでいます。みんなて共有する時間があるといい時間になっています。シーンとした静寂の中で、本の世界を楽しみ、その世界に身を置く心地よさの中に先生も友達もいる、そういう空間で読書に浸る時間を体で感じる、それもクラスの集団だけでなく学校中がその時間を楽しんでいる。こういう光景をみると、改めて本の魅力、持っている力の素晴らしさを実感します。

大きな司書教諭の存在

花園校では、昨年の四月から司書教諭が置かれ、図書室の活性化、読書教育の振興に核となってくれています。司書教諭やその指導を受けた図書委員会の子どもたちが、昼休みや放課後に読書へのき

っかけ作りとして、「ブックトーク」「エプロンシアター」

や「絵本を楽しむ会」「ペーパーサート」といった催しに取り組んでいます。

また、高学年の子どもが低学年にお話をするのもやっております。本を介してのいい交流の場にもなっています。



向井 純子 校長

予約会に目を輝かせる子どもたち

私の学校の面白い取組として、夏休み前に「予約会」というのをやっています。新しい本が入ったことを全校児童に知らせ、新着本を図書室の机の上にベタに並べます。それを見て予約カードに学年・組、氏名を書いて自分が読みたい本に挟んで貸出予約をします。自分が選んだ、真つさらな本を自分が真つ先に読めるという喜びでみんな目を輝かせています。

学校の図書室を子どもたちの身近な存在に

学校の図書室が本当に活用されているかというところ、まだまだ不十分です。図書室が子どもたちの生活の中で、また学びの中で、身近な場所になるように工夫をしないといけない、図書室がいつも開いているという状態をどうしたらつくられるかを常々考えています。子どもが読みたいときに使える図書室であることが重要です。

夢のある楽しい図書室づくり

花園校では、子どもが登校してから下校までずっと図書室を開けています。図書室の雰囲気、暗い冷たい感じにならないよう、子どもにとって使い易い配架や分かり易い案内表示の工夫など、明るく楽しい図書室づくりに努めています。

保護者への働きかけ・連携は不可欠

子どもの読書を振興するには、まず保護者にも読書に関心をもってもらい、本に触れてもらう機会を工夫することが必要です。花園校では保護者専用の本棚をPTAの会議室前に設けて、参観日等で来校の際にいつでも閲覧でき貸出もできるようにしています。

保護者ボランティアが図書室運営に協力

保護者の方に呼びかけて、ボランティアとして図書室の運営に協力いただいています。本の貸出や読み聞かせや修理など、中間休みや放課後に手伝ってもらっています。また、夏休みの間、毎日子どもに開放する図書室の運営にも多くの保護者が関わってくださっています。こうした取組は、全市のにも多くの学校に広まり、保護者の子どもの読書への理解や関心が深まっています。

学校と市立図書館の交流・連携も重要

土日のゆとりの時間に、自分の調べ学習や課題解決にあたって資料を探すといたときには、地域の市立図書館の利用は、子どもたちの読書生活の中では大切なことです。また、新教育課程になって学校では、総合的な学習を始め、色々な教科・領域の学習の中で調べ学習に使う本が多数必要です。この辺りで市立図書館との連携がうまくいけばと思いますね。

双方が連携を密にする

昨年七月、右京図書館と小学校右北支部の図書主任会との懇談会を初めて開催しました。各学校の取組状況を発表し、それに対して図書館側からどんなサポートができるかといった具体的な内容の有意義な交流ができました。今後こうした交流会をもつて、お互いに連絡を密に取り組むことの大切さを実感しています。

図書館職員ノウハウを学校に

図書館の司書職員の方は、館運営や行事について優れた知識や技術をもつておられます。是非、実務のプロとして学校の図書室に生かせるノウハウがあれば教えていただきたいと思っています。

これからの課題や方向は？

学校の図書室のIT化

楽しみの読書だけでなく、学習の中で様々な図書資料を使っている子どもが増えてほしいと願っています。そのため図書室の整備も急がれ、次にコンピュータの導入が必要になってきます。資料検索という意味と情報収集の手段として、紙の資料だけでなく、電子資料も使えるような図書室というのが今後の課題です。

全市的にいい方向に進んでいる

朝読書の取組や図書室の活性化など、各校が非常に力を入れていて、この取組を大事にしています。

さらに十五年度からは、十二学級以上のすべての市立小学校に司書教諭が配置され、その存在が非常に重要になってくるものと思います。各校で司書教諭がうまく機能して成果が現れるよう、仕事と役割を明確にして取り組んでいく必要があると思っています。

今、法律の制定がきっかけともなっていて、子どもの読書の重要性への認識が高まりをみせています。京都市全体が子どもの読書活動の推進に取り組もうと気運が盛り上がっている今こそ、学校も、市立図書館も、力を合わせて共に頑張っていきたいと思います。

いがいとがんとん

オーパック

OPAC(検索機)!

本をさがす

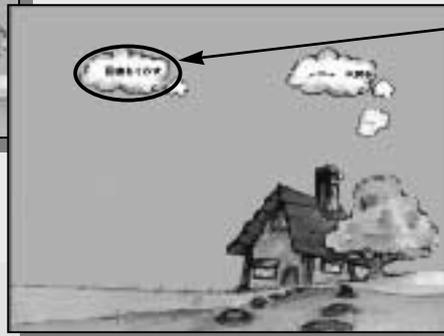
京都市図書館では、全19館に図書検索機 (OPAC) を設置しています。画面に触れるだけで、京都市図書館の全所蔵資料を簡単に調べていただくことができます。

タイトルからさがす場合



①「資料をさがす」を押します

※この画面から、新しく入った本の一覧や、行事などのお知らせをみることもできます。

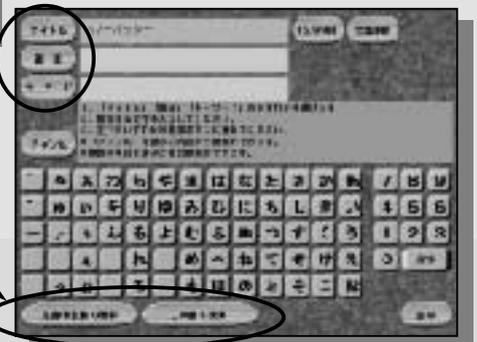


②「図書をさがす」を押します

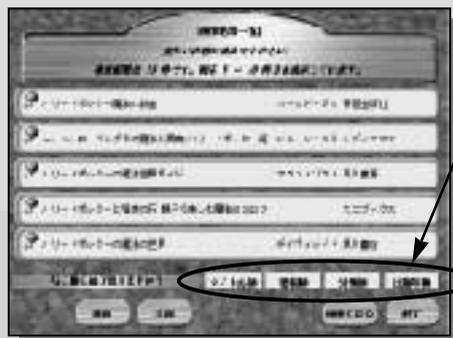
※醍醐中央図書館、こどもみらい館子育て図書館では、視聴覚資料 (AV) をさがすこともできます。

③「タイトル」を押して、さがしたい本の題名を入れます

※「著者」や「キーワード」「ジャンル」などでもさがすことができます。



④「京都市全館で検索」「この館で検索」のどちらかを選びます



⑤一覧の中から見たい本を選びます

※一覧は「タイトル順」「著者順」「分類順」「出版年順」に並べ替えることができます。



⑥本の貸出状況などを見ることができます

※「印刷」を押すと、レシートにその本の情報が印刷されます。

★館内には、キーボードで調べられるOPACもあります。ご利用ください。

「この1冊」

二〇〇三年三月、京都市を中心に開催の世界水フォーラムにちなんで「水」をテーマに、図書館での「本の探し方」の流れの一例をご紹介します。

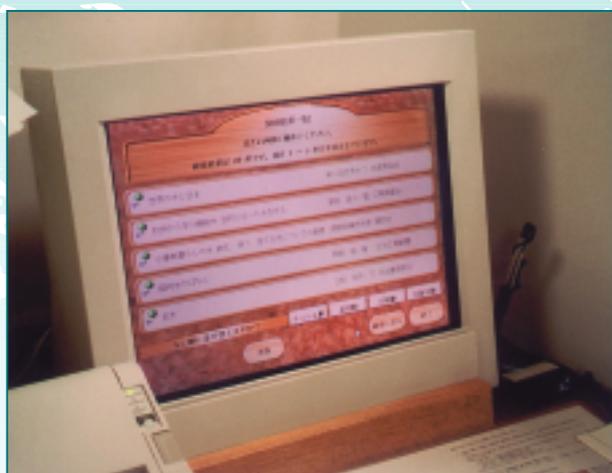
● テーマ・「水」

「水について調べたいんですけど」

「水の本はどこにありますか？」

と、図書館で尋ねられたとしても、「はい、こちらです」と打てば響くようなお答えはなかなかできません。

「水」というテーマはあまりにも大きいからです。「自然」「科学」「環境」「産業」。「川」「海」「湖」「沼」。「上水道」「下水道」。「水」をテーマにした小説。目的の本へのたどり着きかたは様々です。



● どんな本があるのかな…

図書館検索機(OPAC)で

とりあえずどんな本があるのかを見たい、という場合はOPACで調べてみてください。

現在、京都市図書館の図書館検索機(OPAC)は、本の題名(タイトル)・作者・キーワード・ジャンルのそれぞれから検索することができます。(検索の方法は、この号のP3・小特集をご覧ください。)

タイトルの欄に「みず」と入れると、本の題名に「みず」という文字が入った本の



一覧が出て来ます。このとき、完全一致を選ぶと『水』というタイトルの本が、部分一致を選ぶとタイトルの一部に「水」が付く本が検索されます。ただし、水色とか水玉とか、意味が違っても「水」がタイトルの一部分になっている本は膨大です。もう少し長いタイトル、例えば「水の」とか「水に」と入れてみるとか、またはキーワード検索をするところの程度は絞り込めます。

キーワード検索は、タイトルの検索と同様キーワードの欄に「みず」と入れてください。テーマが「水」である本を検索できます。

特集 探そう!

まずは概略を・・・ 百科事典ほか事典類で

水の概略をなるべく短期間に、まとめて、しかし詳しく、専門的に知ろうと思ったら、百科事典が一番です。「水の構造と性質」「水と生命」「水と人間のくらし」「水と宗教」など、濃縮された内容がコンパクトに収められています。資料調査の第一歩や参考文献の手がかりとしても、百科事典はとても有効です。

水に関しては、『水の百科事典』『水のなんでも小事典』『小事典暮らしの水』など、そのものスバリの専門的な事典もあります。

とにかく本を 手に入れる・・・ 分類番号で

一刻も早く本の現物を見つけて貸し出しを受けたい、という場合には分類番号を知っておくと便利です。

図書館では本のテーマごとに番号(分類番号)を付け、その数字順に棚に並べるので、同じテーマの本が集まっています。分類番号は『日本十進分類法』で定められています。

『日本十進分類法』の相関索引で「水」を引いてみると・・・

- ・ 水(化学)・・・435・44
- ・ 水(河川工学)・・・517・1
- ・ 水(水法)・・・324・29



- ・ 水(陸水学)・・・452・9
 - ・ 工業用水・・・571・9
 - ・ 農業用水・・・614・3
 - ・ 汚濁・・・519・4
 - ・ 資源・・・501・6
 - ・ 浄化・・・518・15
 - ・ 崇拜・・・163・1
- と、このように実に広範囲です。これら以外にも「水」で始まる言葉、例えば「水

時計・・・449・1」や「水電解・・・572・24」などもこの索引で検索できます。

ただし、図書館ではこれらの分類番号の上二桁から上四桁をとって使っていますのでご注意ください。

何をどうしたら・・・ 職員に訊く

どこをどう探したら良いのか、全く分からないという時にはお気軽に職員にお尋ねください。目的の資料に行き着く最短のルートを探すお手伝いをいたします。

一番大切なこと・・・ 「何を知りたいのか」

このように一口に「水」というテーマでも、色々なアプローチの仕方があります。また読む本や使う資料によって、同じテーマでもさらに色々な展開、色々な結末、色々な進展を見ることになります。

『水のすべて』というように、一冊で全てが判る都合の良い本はなかなかみつかりません。複数の本を調べる労を惜しまないでください。

そしてどのような時でも、一番大切なことは『自分は何を知りたいのか』ということとを、常に念頭に置くことです。図書館を上手に使うって、あなたの「この一冊」を探しあててください。



北図書館

「歴史に彩られた紫野の図書館」

雅なる町名

北図書館は、北大路通の堀川通と大宮通の中間に位置する「紫野雲林院町」にあります。

紫野雲林院町という地名は、平安京を建都した桓武天皇の第三皇子淳和天皇が造営した離宮の名から来たもので、平成十二年に町内のマンション建設現場からその遺構が出土し、淳和天皇が優雅な宴を催したとされる『類聚国史』の記述を裏付ける池の跡や釣台の跡と思われる柱の跡等が発掘されました。当初「紫野院」と称したこの離宮は、「雲林亭」と改称され、やがて仁明天皇の皇子常康親王に伝領されて仏寺となり「雲林院」と呼ばれるようになったと伝えられています。



現在

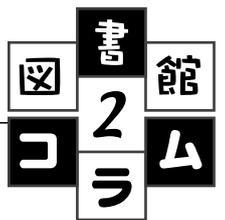
北図書館は、昭和五十六年十二月に北電報局の跡地を利用して建てられた施設の一角に開館しました。平成十三年度の利用状況は、個人貸出では延べ七八、七九一人の方が本を借りられ、団体貸出との合計で貸出冊数は二五六、六七四冊となっております。地域の方々に利用されてきました。

閲覧室は、いつも元気な児童館の子どもたち、付近の学校の小学生や中学生、小さな子を連れてお母さん、学生さん、お年寄り等たくさんの人たちが集まってくる場所になっています。特に、週末には、子どもに手を引っぱられて来館されるお父さんも目にします。

図書館の玄関の前には、「花のシャトル便」と書かれたベゴニアやパンジーの植えられたプランターが並べてあります。これは、紫野小学校の子どもたちが学校で育てた花を持ってきてくれたもので、図書館を利用される方の目を楽しませてくれています。

これからも

北図書館は、紫野の町並みに溶け込んだ皆さんの図書館です。いつの時代になっても地域の方々の情報発信の拠点であり続けたいと願っています。



忘れ物は、なんですか？

読みさしのページに葉を挟んで一休み、熱い珈琲を一口…。

読書家にとって葉は無くってはならぬものですが、結構定義は曖昧です。どんなものでも本に挟めたなら葉になりますものね。

さて図書館の本の間にも、様々な「葉」が忘れられたまま返って来ます。まあ普通のいわゆる葉(文庫本のオマケ、市販のもの、手製のもの、貼って剥がせる付箋等々)。バスの整理券(通学・通勤途中の読書でしようか?)、地下鉄の切符(改札口はどうやって?)。使用済みのプリペイドカード(少し前まではテレカ、最近は交通機関のものが多くです)、まだ使えるプリペイドカード(もったいない!)。割り箸の袋、ストローの袋(お食事の友ですね、ちよっと消化に悪いかも?)、割り箸、ストロー(…)。レシート、領収書(名探偵ならいろいろ推理できそう)、お菓子の袋(食べ物のかすには気を付けてね)、マッチ(…)、タバコ(…)、ティッシュペーパー(ハンカチというのではないようです)。季節感溢れる草花の類(春には桜、秋には紅葉)。

びっくりするような貴重品もあります。はがき、手紙。病院の診察券、保険証。公共料金、給与の明細書。学生証、免許証。持ち主が判るものに関しては、必ず連絡を差し上げていますが、どうぞご注意ください。

それにしてもどんな「葉」もそれぞれに思わせぶりなドラマチックで、ここから始まる物語が紡げそうだなあ、といつも思います。ただし、手近に葉が無いからといって、本の端や角を折るのはマナー違反ですよ。

このコーナーでは、司書はもちろん図書館に関わる雑多な仕事、本などでは判りにくい図書館の仕事の裏側などを、少しずつ紹介してゆく予定です。ご質問・ご感想など、ぜひお寄せください。



岩倉図書館

「学びあえる身近な生涯学習の拠点として」

岩倉の由来

岩倉は、京都盆地の北東部に隣り合っている小盆地の岩倉盆地と周囲の小高い山々から成り立っています。

岩倉の「いわくら」とは、「磐座」（石倉・石座・岩蔵）とも書かれ、神が宿る場所としての巨石に対する信仰に由来する名称です。日本各地にその名称があります。

私たちの岩倉は、現在の石座神社の御旅所となっている山住神社（岩倉図書館の西に位置する）のご神体の巨石に由来すると考えられています。（『洛北 岩倉誌』を参考）

緑に囲まれた図書館

岩倉図書館は、岩倉の美しい自然環境に溶け合うように、瓦葺の屋根、石庭、大きな窓、吹き抜け天井などに工夫を凝らし、平成七年四月十八日に開館しました。

図書館の入り口・南側の庭のクスノキ・ヘデハリックスのツタなどが、館全体を包むようにして生い茂り、一年中、鮮やかな緑が来館者の心を和ませてくれます。

生涯学習の地域の拠点として

十四年度には、利用者のご要望に応じて「赤ちゃんとお母さんの絵本コーナー」を新設し、



「わかりやすく、選びやすくなった」という、喜びの声も聞いています。

また、中庭にも「やすらぎの庭」と名づけた閲覧コーナーを設置しました。ここでは、野外の新鮮な空気やさわやかな風を感じながら、児童文学講座・おたのしみ会などを楽しんでいただいています。

これらの事業では、地域のボランティアの方々の協力を得ながら実施し、学校や地域と連携して、読書活動の振興に取り組んでいます。

今後さらに、

岩倉図書館が世代を超えて、学びあえる身近な生涯学習の拠点となり、図書館が家庭の本棚として、もともとと気軽に利用され、日常生活における情報発信の基地となるよう取り組みを進めたいと思っています。

図書館の主な出来事〈平成14年度〉

めつきり春めいてきました。新しい年度が始まります。平成14年4月から一年間の京都市図書館の主な出来事をまとめてみました。

○移動図書館自動車「こじか号」6

代目運行開始(4/3)

○京都市図書館情報誌「京図ものがたり」創刊(4/12)

○「京都市子ども読書活動振興市民会議」発足

○「子ども読書の日」(4/23)記念事業を全館で実施(4/21~29)

○京都市右京図書館夜間・祝日開館実施(4/29)

○新コンピュータシステム稼働(10/9)

○「落合恵子と考える「子どもの読書」」開催(10/14)

子ども読書の日を臨時開館

京都市図書館は、子ども読書の日(4/23)に地域館を臨時開館し、全館開館となります。また、様々な記念事業を行います。

祝日・夜間開館を拡大

京都市図書館は現在7館で行っている祝日開館を、平成15年4月29日から全19図書館で行います。また、順次拡大している夜間開館も、山科、南、洛西図書館で新たに行い、5月1日から平日の開館時間は19時30分までになります。祝日、お勤め帰りにもぜひご利用ください。



●左京区 柳島 静江さん 大学講師

この数年、テレビやパソコンの発達が人々の活字離れに追い討ちをかけている。生命科学の発展で、ヒトとチンパンジーのゲノムは、九八％は一致する。アイとアムム母子は学習により情報機器を操作出来る！

しかし活字文化（書籍・文字）はヒトのみが持っている。地上では家族を持たぬ私は、図書館は読書を通してのコミュニケーションの場―変幻自在の想像の世界への旅を楽しむ場でもある。心より館の利用を感謝している。

●山科区 丸山 静子さん 無職

山科の図書館に通って、三十年以上になります。子供の頃は貸本屋で借りていました。

山科の前の図書館から、今の新図書館になり、借り方も変わりましたが、私は本が大好きなのと、運動のため、ほとんど毎日一時間ほど歩いて、図書館に通っています。新聞、新刊、エッセイと見て、買物をして帰り、昼からと夜十一時までNHKのラジオをつけて本を読んでいます。借りる本は乱読で、いろいろな作家の本を読みます。図書館と新聞が休みのときは寂しいです。

●伏見区 大和 明子さん 児童館職員

毎日、通勤電車の往復一時間が、私の読書時間です。仕事上、専門書を読む必要があり、活字離れしないための自己訓練でもあります。

共働きの私にとっては自分だけの大切な時間です。また、古典・純文学・エッセイ・詩歌・サスペンスと雑読家を自称しております。

一冊を読み終える寸前、次の一冊を求めて、新しい著書・新しい著者との邂逅を期待しながら、図書館や書店をブラブラする時間もまた、心ときめく楽しいひとときです。

●東山区 古宮山 和子さん 会社員

私は子どもの頃から図書館によく出かけ、利用してきました。冷暖房もゆき届き、明るくて居心地はどんどん良くなってきています。

それに今では市内の図書館がネットワークで結ばれて簡単に本を検索し、予約ができるのでとても有難いです。他の図書館で借りた本も返却できるので気軽にあちこちの図書館をのぞいて借りる事ができるのが楽しくなりました。活字離れと言われていますが、もっと本好きな人が増えていくといいなと思います。

●右京区 後藤 由美子さん 主婦

ご飯を食べると同じように本を読んでいたい私にとって、「書店と図書館」は大事なスポットです。使いやしく予約もしやすくなってきた最近の京都の図書館を思うと「図書館と書店」と順位は逆転してきました。端末で調べ、そこになくても予約すれば、とても早く届きます。そしてなによりありがたいのは、夜七時半まで開いている、という事です。出先からの帰りや、夕飯がすんでからでもゆつくり間に合うのがうれしいですね。

編集後記

京の図書館の薫り

ひとつの気持をもっている
暖かくなったので
梅の花がさいた
その気持がそのままよい香りにもなるのだろう

(八木重吉「梅」)

春です。風に花の香りがする宿題の無い春休みの、春です。いわゆる「京都市図書館新システム」が稼働してこの春で約六ヶ月が経ちます。その間、利用者の皆様からたくさん声をいただきました。「便利になった」とお誉めの言葉だったり、「不備がある」とのお叱りだったり。内容によってすぐ対処できるものと、どうしても時間がかかるものご希望に沿うのが難しいものも様々ですが、ご意見は必ず参考にさせていただいています。より良い図書館に作り上げてゆくために、これからも皆様の声をお聞かせください。

中でも「OPAC(図書検索機)の使い方が判らない」という声が多かったため、今号の小特集に取り上げました。難しい機械のようですが、画面に触るだけです。滅多なことでは壊れませんし、もちろん噛み付きもしません。どんどん使ってみてくださいね。

皆様の図書館への想いが「良い香り」へと熟成してゆくよう、図書館職員はよりいっそうの努力をしたいと思っています。



平成15年3月発行

編集・発行 (財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>

本誌は資源の有効活用のため再生紙を使用しています